

操業中 1

技術名：原位置浄化（原位置分解）生物処理法

申請者：株式会社大林組

ケース⑨⑬

技術の種類：透過性地下水浄化壁

【技術の概要】

クロロクリン工法

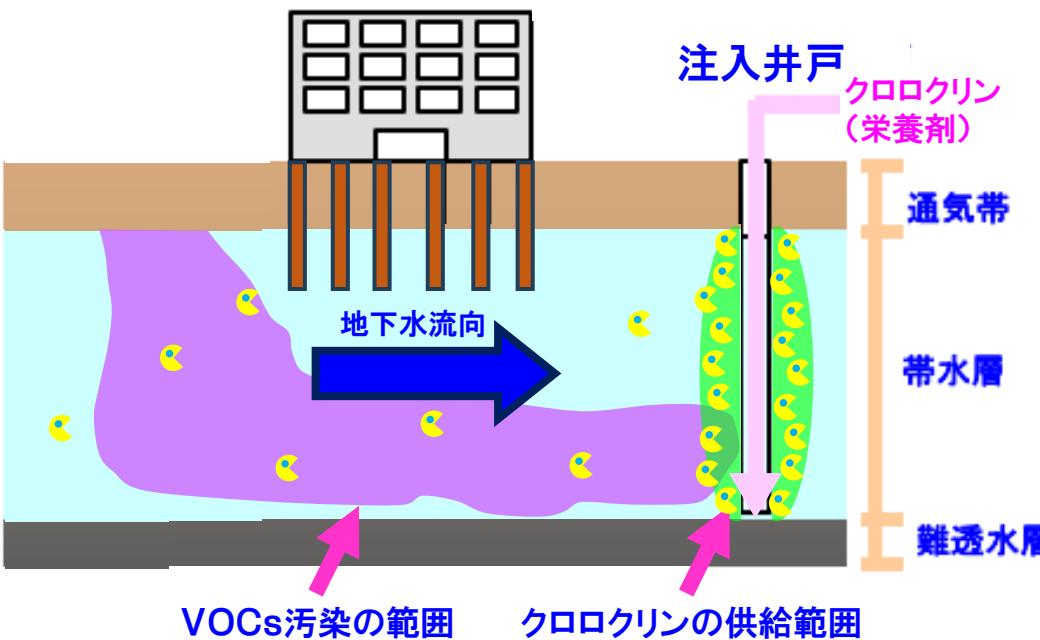
当社が開発した微生物栄養剤「クロロクリン」を地盤に注入し、地盤中の微生物を活性化させることにより、VOCsを微生物分解します。クロロクリンは4種類あり、汚染濃度や地盤条件に応じて適切に使用します。

対象物質

第一種特定有害物質  
(ベンゼン、1,3-ジクロロプロペニを除く)

適用濃度

各物質とも第二溶出量基準、第二地下水基準への対応可能。適用濃度の目安は、地下水基準の200倍程度となる。上記より高濃度汚染の場合は、1回の栄養剤注入で浄化が完了しないこともあるため、栄養剤の繰り返し注入（再施工）を行うことで対応する。



クロロクリン工法のイメージ



クロロクリン注入設備例